

# 平成18年度科学交流フォーラム

## 医学を支える生命科学の最前線

**日時** 2007年1月10日(水)～11日(木)

**場所** 静岡大学 大学会館ホール (〒422-8529 静岡市駿河区大谷836)

### プログラム

#### 1月10日(水)

- 10:00 受付開始
- 10:30 開会挨拶 丑丸 敬史 (静岡大学生命科学若手フォーラム・代表) / 静岡県

#### セッション1 『基礎生命科学を支える最先端技術』

- 10:40 「ヒト病原細菌と植物病原細菌の共通感染戦略」  
露無 慎二 (静岡大学創造科学技術大学院・静岡研究院長,(併)遺伝子実験施設長)
- 11:15 「創薬を指向したケミカルジェネティクス」  
浅井 章良 (静岡県立大学創薬探索センター)
- 11:50 「分裂酵母のリバースプロテオミクスを基盤としたケミカルバイオロジー」  
吉田 稔 (理化学研究所)
- 12:25 休憩
- 13:30 「光機能性分子を精密に設計して、新しい生物研究ツールを創り出す」  
浦野 泰照 (東京大学大学院薬学系研究科)
- 14:05 「DNAの塩基配列と構造を読む分子」  
杉山 弘 (京都大学大学院理学系研究科)
- 14:40 ポスター発表の内容紹介
- 15:40 ポスター発表 募集中: 締め切り12月15日(金)
- 16:45 交流会

#### 1月11日(木)

#### セッション2 『発生・再生のメカニズムを探る』

- 09:10 「肝臓発生過程における肝芽細胞の動態と肝臓の組織形成」  
小池 亨 (静岡大学理学部)
- 09:45 「破骨細胞におけるc-Srcの機能とイノシトールホスファターゼSHIPによる骨吸収制御」  
与語圭一郎 (静岡大学農学部)
- 10:20 「クローズドコロニーマウスに隠された疾患モデルマウスたち」  
高林 秀次 (浜松医科大学医学部附属動物実験施設)
- 10:55 コーヒーブレイク
- 11:10 「脊椎動物の分節性確立機構」  
相賀 裕美子 (国立遺伝学研究所 系統生物研究センター)
- 11:45 「Liver progenitor cells: their isolation, growth and differentiation in culture.」  
George C.T. Yeoh (BBCS and WAIMR, University of Western Australia)
- 12:20 休憩
- 13:30 ポスター発表 募集中: 締め切り12月15日(金)

#### セッション3 『染色体の華麗なる実像にせまる!』

- 14:30 「シュゴシンは動原体とスピンドルの正しい接着を制御する」  
渡邊 嘉典 (東京大学分子細胞生物学研究所)
- 15:05 「Functional dissection of chromosomal binding sites for condensin」  
Alexander Strunnikov (NIH, National Institute of Child Health and Human Development.)
- 15:40 コーヒーブレイク
- 15:55 「染色体, 核膜, 細胞骨格によるDNA交換反応の制御メカニズム」  
篠原 彰 (大阪大学タンパク質研究所)
- 16:30 「スピンドルチェックポイント機構による減数分裂の染色体分配制御」  
山本 歩 (静岡大学理学部)
- 17:05 閉会挨拶 天岸祥光 (静岡大学学長)

**主催:** 静岡大学生命科学若手フォーラム (静岡大学/静岡県立大学/浜松医科大学)/大学ネットワーク静岡/静岡県

ポスター発表を募集しています。生命科学の分野であればどんな演題でも結構です。締め切り12月15日(金)  
問い合わせ先: 丑丸 敬史 (E-mail: sbtushi@ipc.shizuoka.ac.jp, TEL: 054-238-4772)

本シンポジウムは第8回静岡大学ライフサイエンスシンポジウムを兼ねています。参加費は無料で交流会費は有料(500円)となります。  
教員、学生を問わず、多くの方の参加をお待ちしています。